（様式第13号）

大阪市地域公共人材　派遣報告シート

■事務局記入　■人材記入

派遣通知（団体）No.		派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	16-002 河岡　秀明	18-002 池田　弘志	24-002 岩﨑　拓海
派遣先（名称）	みやこ子ども食堂				

派遣計画書の内容			
初回ヒアリング	2024年9月30日	３回次	
１回次	現状の見える化の共有	４回次	
２回次	共有の作戦会議と作戦の具体化	５回次	

派遣回次	初回ヒアリング	派遣日時	2024年9月30日 18:00～20:00

参加者				
	地域　2名	人材　3名 事務局　1名	区役所　名 まちセン　名	その他　名 （　　　）

活動内容

●派遣依頼内容

みやここども食堂を誰もが事業継承や参画ができるよう運営資金を確保するための方法の検討と具体化の方策の策定の支援

●支援内容・プログラム

派遣依頼内容に基づく初回ヒアリングを実施した。依頼内容を確認のため、依頼団体からこども食堂の経緯から現状の課題まで忌憚なく聞き、今後の「支援の方向性」「スケジュール」を決める話し合いを実施した。団体内の問題意識に差があり真の派遣依頼内容の確認が難しかった。

●成果

当初の派遣依頼内容は「月１回、ほとんど告知なしで毎回150名程度集まっていますが、食材等の多くが持ち出し状態にあり、何か良い方法がないか相談したい。」ということであったが、ヒアリングの結果、真の依頼内容は「みやここども食堂を誰もが事業継承や参画ができるよう運営資金を確保するための方法の検討と具体化の方策の策定の支援」だと把握することができた。こども食堂の立ち上げ経緯や現状の活動をヒアリングすることで改めて、地域におけるこども食堂活動の大切さや意義を再確認できたこと。そのことで誰もが事業継承できる基盤作りが必要と感じた。よって、次回は毎月の運営資金項目毎に積算と補うための具体的な寄付（サポーター）先の洗い出しをすることになった。また、他のボランティアさんにも運営の現状の共有とそれぞれの得意不得意をカバーし合える切欠として次回の会議に声掛けの提案もできた。

●今後の予定

新規の方がオーナーとしてみやこ子ども食堂に参画した場合にどのような経費や負担が生ずるかを分析し、経費の使途に応じて補助金や助成金の確保や寄付の募集を検討することとなった。再度、運営内での方向性の確認作業。

所感

登録no.　名前	所感
	団体のこども食堂を立ち上げた経緯や来られる方々への純粋な思いなどが聞けて自分自身も社会貢献活動への意義を再確認することができました。また、団体内の相互の思いが非常に伝わり過ぎて、団体内の方向性の再確認を次回に持ち越しました。次回は具体的な寄付先の列挙から集金方法を話し合う中で団体内の気持ち（方向性）を再度確認したいと思います。
	個人の自己資金（レンタルルーム等の収入）を子ども食堂の運営資金に使用しているようなので、個人の資金管理と仕分けをしたランニング経費の積算を行ない、きちんとした積算が出れば、助成金の検討や寄付呼びかけの検討は可能だと考える。 ただし、団体内に寄付の募集に積極的ではない感触もあり、第1回派遣で意見がまとまるかは懸念がある。
	団体の資金を個人負担することついて、団体内で様々な考え方があるように感じた。 また、会計状況について、個人と活動の経理上の区分が明確になっているかが懸念される。